

「ウルトラハイエフ」2賞を受賞

エネルギー応用研究所 お客さま技術グループ 空調・熱供給チーム

当社の開発した超高効率ヒートポンプチラー「ウルトラハイエフ」が、今年度の「中日産業技術賞」で最高位の経済産業大臣賞を受賞したのに引き続き、「優秀省エネルギー機器表彰」の日本機械工業連合会会長賞を受賞致しました。

「中日産業技術賞」は中部地区を中心に広く我が国の産業技術の発展を願い、中日新聞社の創業100年を記念して1987年度に創設されたもので、機械金属、コンピューター・情報、新素材・バイオテクノロジー分野での最近の技術・製品開発を対象に、経済産業大臣賞1件、中日新聞社賞2件、特別奨励賞1件が選定・授与されます。1月15日に贈呈式があり、賞状、メダルと副賞をいただきました。

また、「優秀省エネルギー機器表彰」は、省エネルギー効果の著しい機器の普及と開発意欲の増進を図ることを目的に（社）日本機械工業連合会が1980年より優秀な製品を表彰しており、2月6日にキャピトル東急ホテルで表彰式が行われました。

ウルトラハイエフは作動原理をローレンツサイクル

とすることで、従来のヒートポンプに比べ50%の性能向上を実現し、その信頼性、経済性などが高く評価された結果、名古屋港水族館、ホテルニューオータニをはじめ、すでに大型ヒートポンプとして順調な約40台の実績があります。今回の受賞は、技術的革新性、省エネ性とともに実績も高く評価されたものです。



送電線建設技術研究会「技術進歩賞」「技術開発賞」を受賞

平成14年1月11日に送電線建設技術研究会の2001年度技術関連表彰が東京都千代田区のホテルグランドパレスで行われました。

既に鈴木賞（現在の技術開発賞）を受賞した案件で技術開発効果が大きく、その後適用実績が積み、送電線建設技術の進歩発展に貢献したとして「残土中詰め型深礎基礎における内型枠工法（エアバッグ工法他）の開発」〔久野 武紀（当時所属：中央送電建設所設計技術G）〕〔共同受賞企業：（株）シーテック、（株）トーエネック、日立電線（株）、川北電気工業（株）〕

東光電気工事（株）が「技術進歩賞」を受賞しました。また、工法、機械、工具、システム等の開発または改良により工事の効率化、品質の向上、作業の安全及び環境の改善等に貢献したとして「2脚1/2面込み鉄塔高上げ工法の開発」〔松井 英徳、増田 浩重、増田 和行、村田 俊之（当時所属：静岡電力センター送電課）〕〔共同受賞企業：愛知金属工業（株）〕が「技術開発賞」を受賞しました。

（今年度から「鈴木賞」「太刀川賞」の2賞が新たに「技術開発賞」と名称変更されています。）

